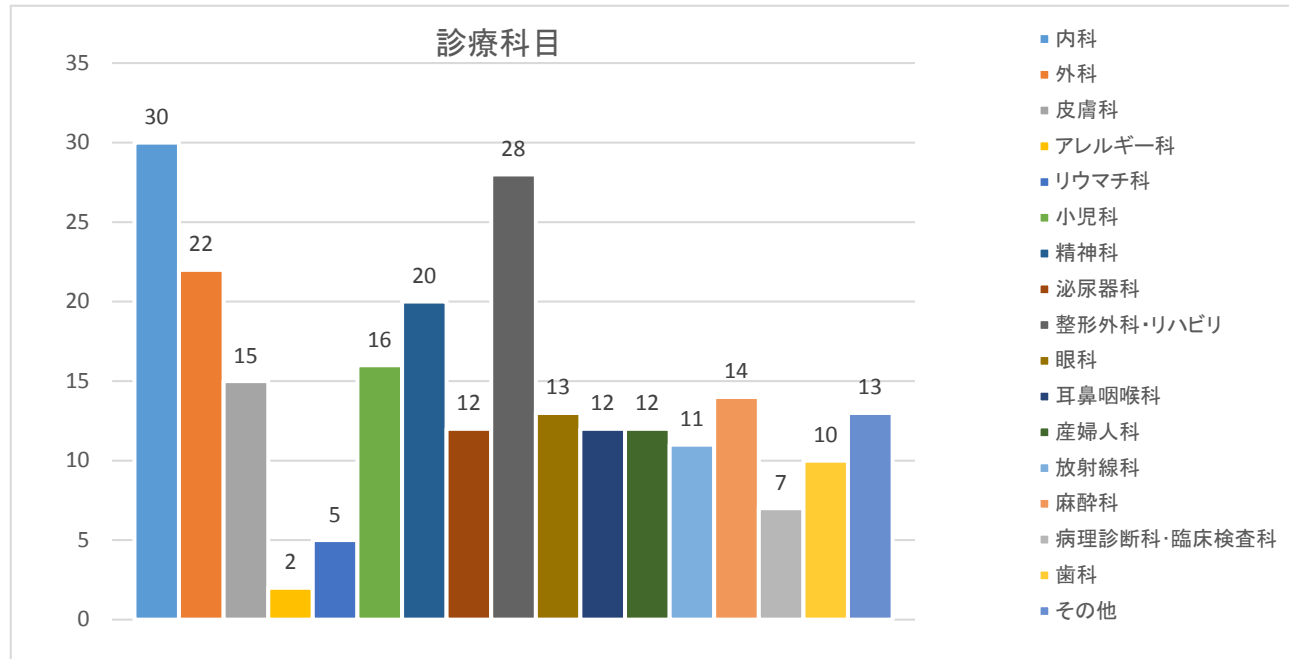


# 平成30年度 鳥取県医療勤務環境改善支援センター 病院の勤務環境に関するアンケート調査結果

回答率:34/44病院(77.2%) 実施時期:平成30年8月~9月

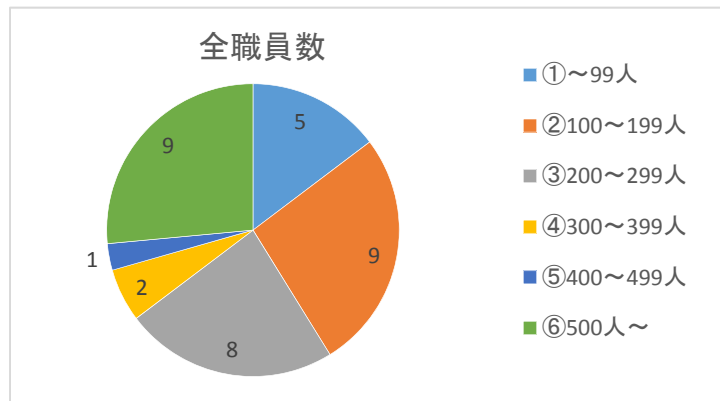
## 問1 診療科目について

	n=34	構成比
内科	30	12.3%
外科	22	8.8%
皮膚科	15	6.2%
アレルギー科	2	0.4%
リウマチ科	5	1.8%
小児科	16	7.0%
精神科	20	7.5%
泌尿器科	12	5.3%
整形外科・リハビリ	28	11.9%
眼科	13	5.7%
耳鼻咽喉科	12	4.8%
産婦人科	12	5.3%
放射線科	11	4.4%
麻酔科	14	5.7%
病理診断科・臨床検査科	7	3.1%
歯科	10	4.4%
その他	13	5.3%
合計	242	100%



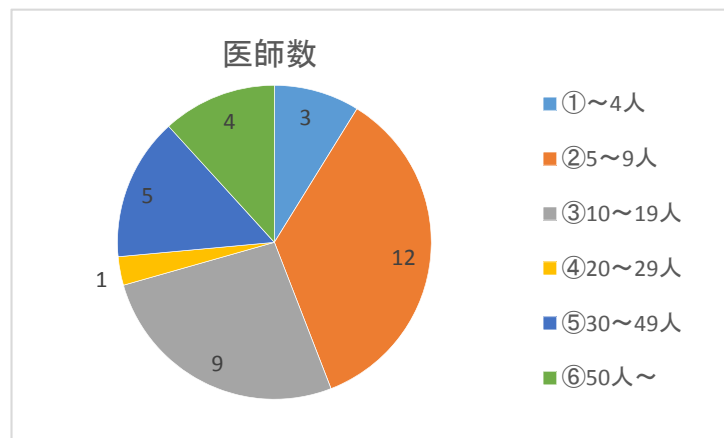
## 問2 ①全職員数について

	n=34	構成比
①~99人	5	14.7%
②100~199人	9	26.5%
③200~299人	8	23.5%
④300~399人	2	5.9%
⑤400~499人	1	2.9%
⑥500人~	9	26.5%
合計	34	100%



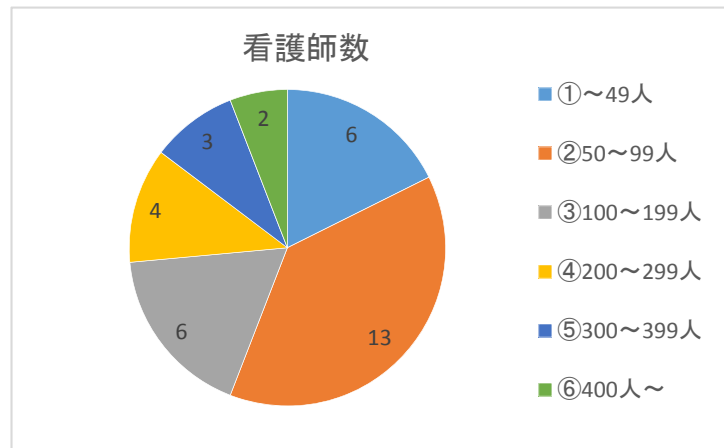
問2 ②医師数について

	n=34	構成比
①～4人	3	8.8%
②5～9人	12	35.3%
③10～19人	9	26.5%
④20～29人	1	0%
⑤30～49人	5	14.7%
⑥50人～	4	11.8%
合計	34	100%



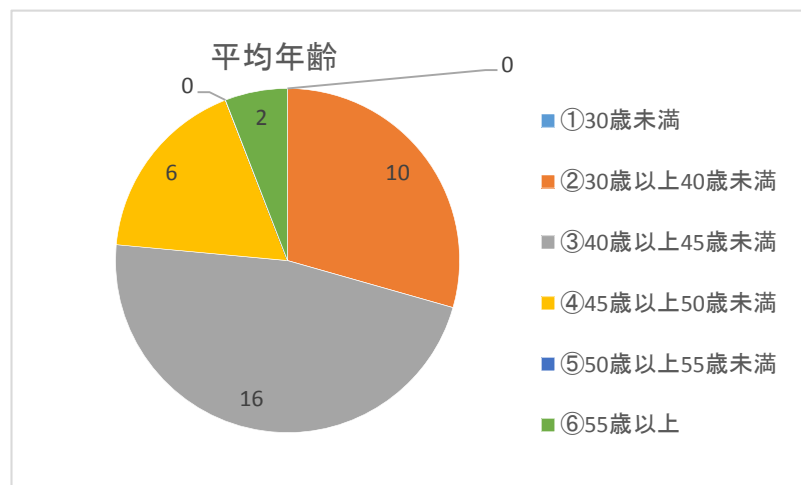
問2 ③看護師数について

	n=34	構成比
①～49人	6	17.6%
②50～99人	13	38.2%
③100～199人	6	17.6%
④200～299人	4	11.8%
⑤300～399人	3	8.8%
⑥400人～	2	5.9%
合計	34	100%



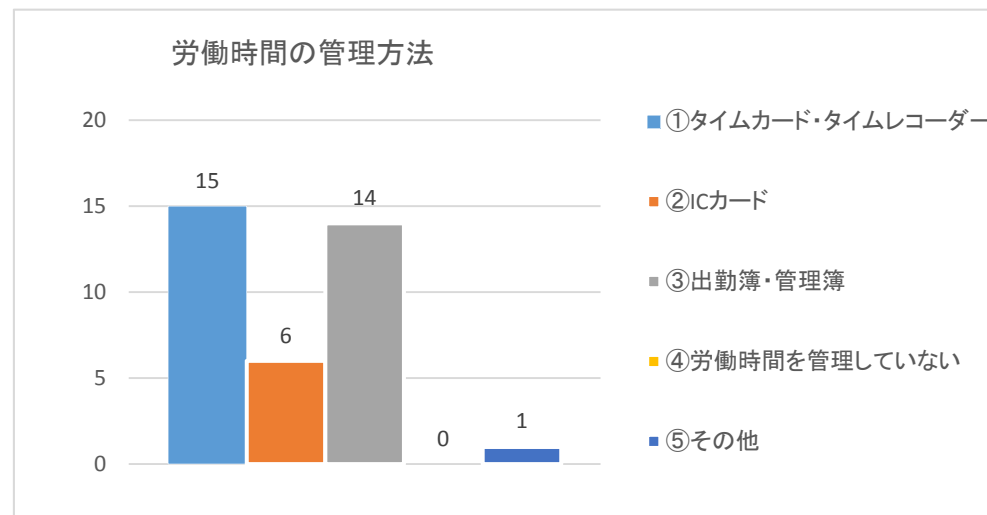
問3 職員の平均年齢について

	n=34	構成比
①30歳未満	0	0%
②30歳以上40歳未満	10	29.4%
③40歳以上45歳未満	16	47.1%
④45歳以上50歳未満	6	17.6%
⑤50歳以上55歳未満	0	0%
⑥55歳以上	2	5.9%
合計	34	100%



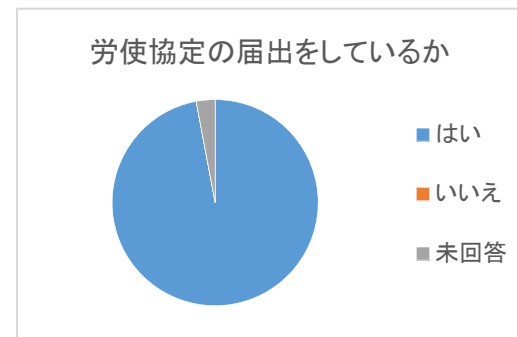
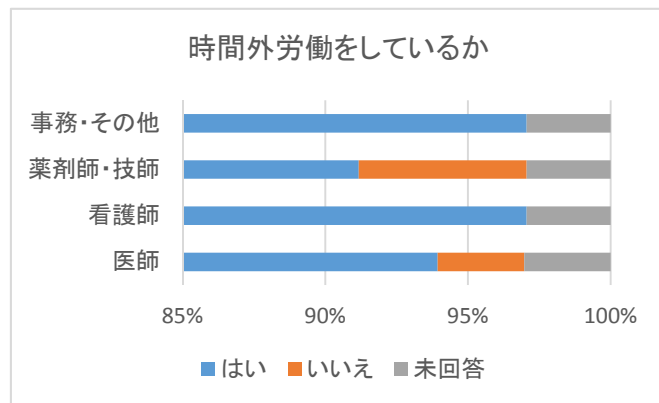
問4 労働時間の管理方法について(複数回答可)

	n=34	構成比
①タイムカード・タイムレコーダー	15	41.7%
②ICカード	6	16.7%
③出勤簿・管理簿	14	38.9%
④労働時間を管理していない	0	0%
⑤その他	1	2.8%
合計	36	100%



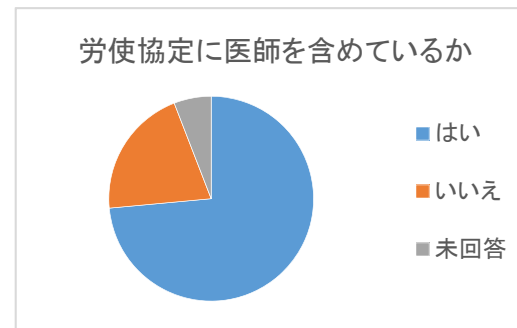
問5 ①時間外労働をしていますか

	はい	いいえ	未回答
医師	31	1	1
看護師	33	0	1
薬剤師・技師	31	2	1
事務・その他	33	0	1



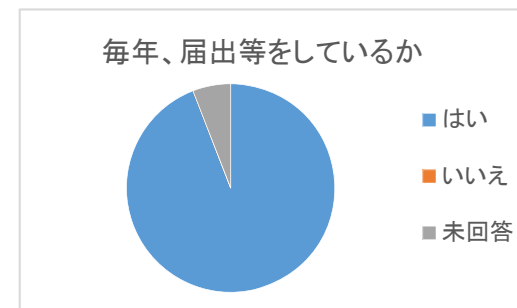
問5 ②時間外労働を行うにあたっての労使協定(36協定)を結び、それを労働基準監督署に届けていますか。

	はい	いいえ	未回答
届出をしているか	33	0	1



問5 ③労使協定(36協定)に医師も含めていますか。

	はい	いいえ	未回答
含めているか	25	7	2

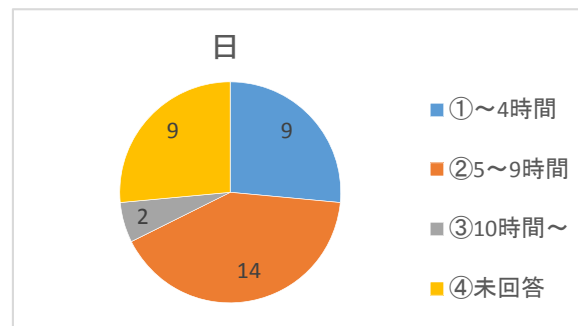


問5 ④労使協定は、毎年あるいは有効期限ごとに提出、または毎年自動更新の届を提出していますか。

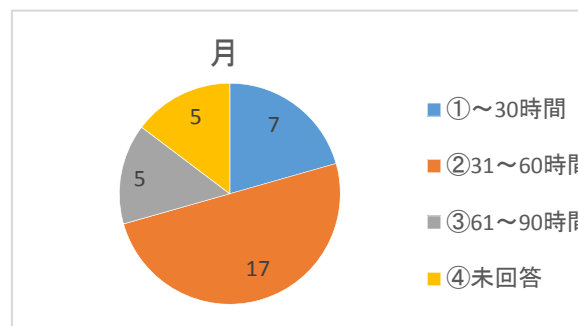
	はい	いいえ	未回答
届出をしているか	32	0	2

問5 ⑤労使協定で定めている時間外労働の時間数のうち最長の時間数はいくつですか。(特別条項を定めている場合はその時間数)

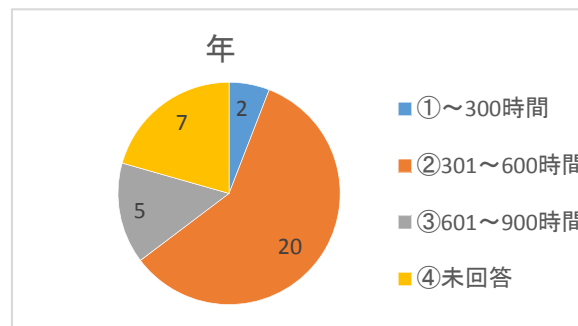
	①～4時間	②5～9時間	③10時間～	④未回答
日	9	14	2	9



	①～30時間	②31～60時間	③61～90時間	④未回答
月	7	17	5	5

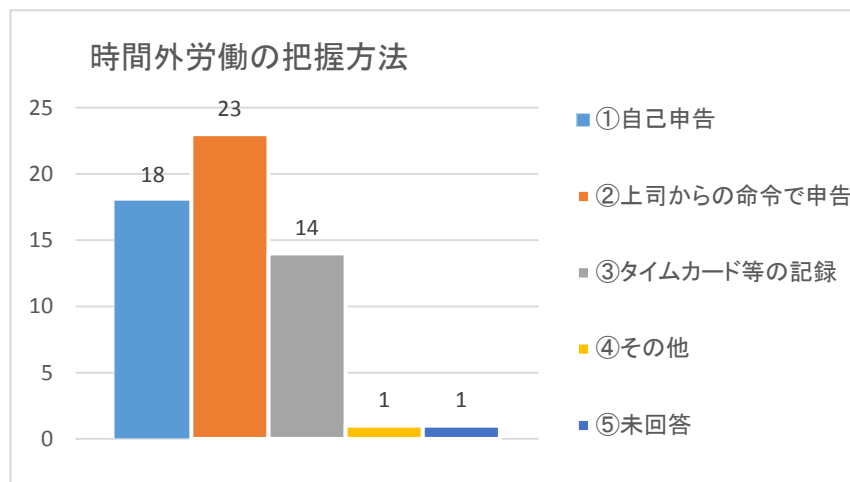


	①～300時間	②301～600時間	③601～900時間	④未回答
年	2	20	5	7



問5 ⑥時間外労働時間の把握方法について

		構成比
①自己申告	18	31.6%
②上司からの命令で申告	23	40.4%
③タイムカード等の記録	14	24.6%
④その他	1	1.8%
⑤未回答	1	1.8%
合計	57	100%



問6 平成29年度の退職者の有無について

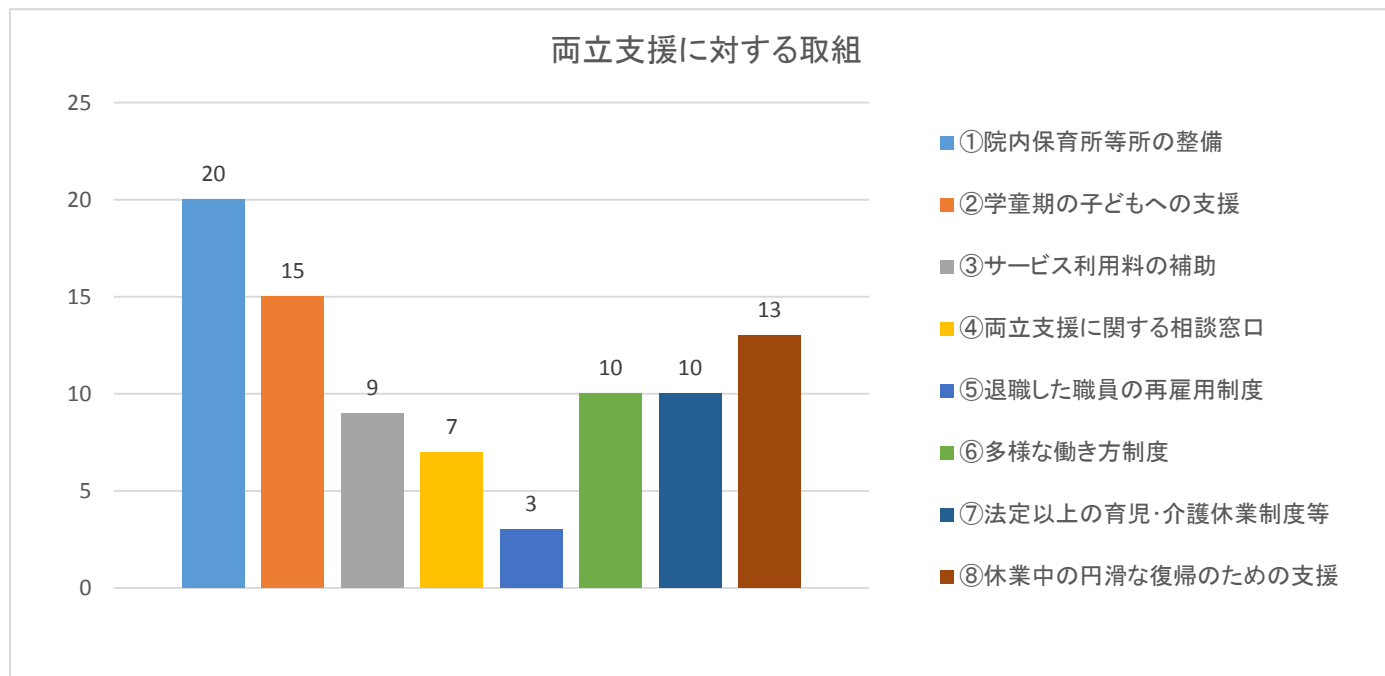
	退職者が いなかった 病院	退職者が いた病院	出産による退職			育児による退職			介護による退職		
			有	無	未回答	有	無	未回答	有	無	未回答
			医師	15	18	0	26	8	0	26	8
看護師	0	34	4	25	5	6	22	6	2	27	5
薬剤師・技師等	14	20	0	27	7	0	27	7	0	26	8
事務・その他	2	32	0	28	6	0	28	6	2	26	6

問7 妊娠・出産、育児、介護に関して、整備されている制度と、医師・看護師・その他職員の取得状況について

			取得実績のある医療機関数						整備済 の医療 機関数 (n=34)
			医師		看護師		その他職員		
			H29	以前 取得	H29	以前 取得	H29	以前 取得	
妊娠・ 出産	1	産前・産後休業	8	15	29	26	29	25	34
	2	夜勤および時間外労働、変形労働時間制の制限	3	5	22	19	14	15	31
	3	保健指導・健康診査のための有給休暇	6	8	14	13	13	13	21
	4	医師の指導事項を守るための措置(通勤緩和等)	1	2	5	6	5	4	22
	5	配偶者の出産休暇(男性のみ対象)	1	3	9	7	12	14	26
育児	6	育児休業	7	11	29	27	30	26	34
	7	育児休業・育児参加のための休暇(男性のみ対象)	0	5	4	5	6	5	27
	8	育児短時間勤務(短時間正職員制度)	6	8	19	20	16	17	30
	9	子の看護休暇	6	9	23	21	23	22	34
介護	10	介護休業	0	2	7	18	5	12	32
	11	介護短時間勤務(短時間正職員制度)	0	0	3	3	1	1	25
	12	介護休暇	0	0	11	14	11	10	32
育児・ 介護	13	育児・介護による夜勤の制限	3	3	24	22	10	10	31
	14	育児・介護による時間外労働の制限	3	3	18	15	8	8	29
	15	育児・介護による所定外(時間外)労働の免除	1	2	15	14	8	9	28
	16	フレックスタイム制	0	0	0	0	0	1	5
	17	早出・遅出勤務	0	2	11	9	10	8	21
	18	子の看護休暇・介護休暇の有給制	5	5	18	15	17	15	20
	19	その他(院内保育所)	1	1	0	0	1	0	1

問8 仕事と育児・介護等の両立支援について、取り組んでいるもの(複数回答可)

	回答数
①院内保育所や提携保育所の整備	20
②学童期の子どもを有する職員への支援	15
③保育・介護サービス利用料の補助	9
④育児・介護の両立支援に関する相談窓口の整備	7
⑤育児・介護で退職した職員の再雇用制度	3
⑥ライフステージに合わせた多様な雇用形態(多様な働き方制度)	10
⑦法定以上の育児・介護休業制度、子の看護・介護休暇の導入	10
⑧育児・介護休業中の円滑な復帰のための支援	13





## 問9 勤務環境改善に取り組みたい(取り組んでいる)、具体的な内容

### ①働き方・休み方について

- ・WLB推進委員会を設置している
- ・医師、看護師事務作業補助者を配置している
- ・院内会議の定時内開催(原則30分以内)
- ・勤怠管理システム活用による時間外労働の削減
- ・時間外労働時間の削減
- ・年次有給休暇の取得促進
- ・ノー残業デーの実施
- ・夏季休暇、バースデー休暇、リフレッシュ休暇などで有休を取りやすいように休暇制度を実施
- ・働き方改革検討ワーキングを立ち上げ、改善に取り組みを開始
- ・有給休暇の連続取得の促進
- ・労使協議会を定期的に行い、時間外労働の実態把握や対策について検討している
- ・ワークライフバランス制度、一般事業主行動計画等による時間外労働の削減
- ・過重労働の抑止
- ・管理職による有給休暇の推進
- ・看護師等の職員増員
- ・待機医に配慮したICT活用の検討(遠隔画像診断システムの検討)
- ・短時間正社員制度の検討
- ・長時間労働者の監督者に対して勤務管理、業務分担の見直し、労働負担軽減についての通知
- ・当直翌日の勤務配慮
- ・複数主治医制の検討
- ・連続当直を行わない勤務体制の実施

### ②職員の健康支援について

- ・感染症対策として各種ワクチン(インフルエンザ、B型肝炎、風疹など)の予防接種の実施または一部補助している
- ・感染症対策として、マスクの配布・手洗い洗剤、アルコール消毒液設置
- ・臨床心理士や保健師によるメンタルヘルス相談窓口の設置
- ・感染対策研修会やメンタルヘルス対策研修会の年数回の開催
- ・健康推進室による保健指導
- ・ストレスチェックの実施や産業医による面談を行っている。
- ・長時間労働者及び長期病旧社に対し産業医の面談を実施
- ・定期健康診断の実施
- ・腰痛アンケート等による腰痛状況の確認、作業手順の見直し
- ・長時間労働者に対するセルフチェック、産業医面談

### ③働きやすさの確保のための環境整備について

- ・院内保育所、学童保育、病児保育所の設置や補助制度
- ・キャリア形成支援
- ・シュミレーションセンターの運用
- ・職員の申出による法定以上の夜勤免除
- ・職場環境改善のための職場巡回
- ・人員確保に過重労働の解消に取り組みたい
- ・ストレス調査結果を受けての所属長面談
- ・定時退勤、サポートセンター等助成
- ・鳥取県の育児支援制度を活用し、職員の働きやすさ確保を図っている
- ・レジデントハウスの運用
- ・ワークライフバランス支援のセンター等の設置
- ・育児、介護との両立支援(育児短時間勤務、介護短時間勤務、子の看護休暇、介護休暇等)
- ・研修、学会への参加支援
- ・職員向け提案箱を設置し、意見を集め検討している
- ・職員食堂の設置
- ・職務満足度調査による業務改善(看護部)
- ・人材確保PTの設置
- ・委員会を設置し、多様な勤務形態導入について検討している

### ④働きがい向上について

- ・院内、院外の研修会への積極的参加支援
- ・院内での計画に基づき、各種教育・研修会を開催。
- ・各種研究、学会、研修会の参加支援(旅費の支援等)
- ・認定看護師等資格取得の推進や取得のための経費支援
- ・医師キャリア継続プログラムによる支援
- ・院外についても、各部署の教育計画をもとに積極的に参加している
- ・院内各科研修会の充実
- ・専門資格取得支援
- ・鳥取県医師復帰支援システムによる支援